Public Relations Magazine

KUMAGAYA

4

市報くまがや

2025.Apr
Vol.235

特集 | 令和７年度 予算の概要



撮影地：熊谷スポーツ文化公園

進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

市報熊谷
2025

令和7年度　予算の概要

令和7年度予算の概要と主な事業についてお知らせします。

問 財政課　内線241



熊谷市長
小林（こばやし） 哲也（てつや）

市民の皆様には、日頃から市政進展のため、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

熊谷市は、10月1日に新市誕生20年の節目を迎えます。これまでの市政へのご協力に改めて感謝申し上げます。

昨年度は、長引く物価高騰への対策として、引き続き市民生活や地域経済の支援を行うため、子育て世帯などに対する給付金を支給したほか、クマPAYのプレミアム還元などの事業に積極的に取り組んでまいりました。

令和7年度は、20周年を記念する各種事業を実施するほか、第2次総合振興計画後期基本計画に掲げた8つのリーディングプロジェクトと8つの政策を更に推進するため、予算規模797億円、対前年度比68億円、率にして9.3％増の予算といたしました。

また、誰もが子育てしやすい環境を充実させるため、0歳児から2歳児までの保育料の無償化により子育て世帯の経済的負担の軽減を図るほか、令和8年4月のオープンに向け、引き続き、子育て支援・保健拠点施設の整備を進めてまいります。

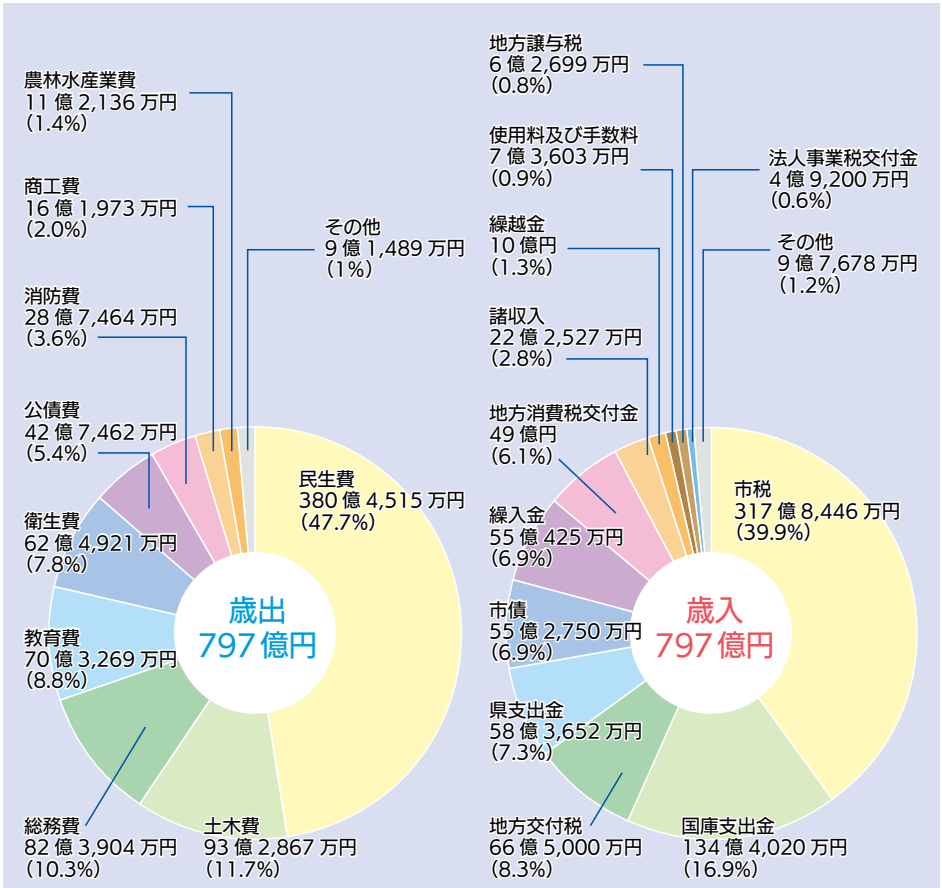
さらに、「北部地域振興交流拠点施設(仮称)」や「熊谷駅南口周辺再整備」、「自治体DX」の推進など、利便性の高いまちづくりを進めるとともに、将来世代にもつながる事業も実施してまいります。

これらの取組が実を結び、選ばれる熊谷市となるよう、市民皆様の声に耳を傾け、健全財政を維持しながら全力で取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。

令和7年度 当初予算額

一般会計	797億円
特別会計	235億4,400万円
国民健康保険	187億4,593万円
土地区画整理事業	14億7,281万円
後期高齢者医療	33億2,526万円
水道事業	86億500万円
下水道事業	78億1,200万円
合　計	1,196億6,100万円

一般会計　歳入・歳出の内訳



熊谷市誕生20周年記念事業

●記念式典事業（811 万円）
令和 7 年 10 月 1 日に 20 周年を迎えることを記念し、これまでの歩みを振り返るとともに、皆様への感謝の意を表するため、記念式典を実施します。

●秩父鉄道記念号運行事業（67 万円）
20 周年を記念したヘッドマークを配したＳＬ記念号の運行を行い、乗客に乗車記念証などを配布し、20 周年を祝う機運の醸成を図ります。

●みんなでお祝い！プレミアム給食事業（700 万円）
市内小・中学生などを対象に、学校給食を通じて祝賀ムードを盛り上げるとともに、本市の地場産物を使用したプレミアム給食を提供し、食育と地産地消を推進します。

保育料完全無償化 ※実質市負担額 4 億 2,410 万円増

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、本市独自の施策として、0 歳児から 2 歳児の保育料を完全無償化します。
事業の詳細は P8 をご覧ください。

次世代のための公共施設マネジメント関連事業

●北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業（9,308 万円）
県と共同で整備を進める北部地域振興交流拠点施設（仮称）について、県の産業振興機能と市庁舎機能の整備による拠点形成により、市民サービスと利便性の向上を図れるよう基本計画を策定します。

●（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業（2 億 8,015 万円）
市民活動支援センター、コミュニティセンター、勤労青少年ホームなどを集約し、異分野・多世代で交流できる施設を整備します。本年度は、実施設計のほか、勤労会館などの解体工事と新施設の建設工事を行います。

●荒川公園周辺再整備事業（4,270 万円）
市民体育館の建替えを含めた荒川公園周辺の再整備に向けた基本計画を策定するため、本年度はワークショップ開催やアンケートなどの実施、樹木診断などの各種調査を実施します。

●子育て支援・保健拠点施設整備事業（38 億1,836 万円）
こどもセンター、保育所、保健センター、休日・夜間急患診療所などの機能を有する施設について、令和８年４月のオープンに向け、建設工事を行い、子育て世代への切れ目のない支援を行います。


子育て支援・保健拠点施設外観イメージ

スマートシティ※関連事業 ※ICT などの先進的な技術をいかした街づくり

●スマートシティ推進事業（1 億 2,410 万円）
DX（デジタルトランスフォーメーション）による市民生活の利便性向上と新たな経済活動の創出に向け、多様な関係者との密な連携を構築し、スマートシティの取組を推進します。民間所有データの取得と連携による更なるデータ活用を図るほか、コミュニティラボの取組を強化します。

●総合交通体系整備促進事業（3 億 3,673 万円うち 2,566 万円）
乗合型ＡＩオンデマンド交通を妻沼地域で新たに運行開始するなど、利便性の高い公共交通ネットワークの形成や維持のための事業を行います。

●スポーツ施設ＡＩカメラ設置事業（730 万円）
「くまぴあ」の人工芝グラウンドにＡＩカメラを設置し、映像の配信や分析などを行うことができる環境を整備し、スポーツを「みる」「ささえる」機会の創出を図ります。


ＡＩカメラ

●スマート農業推進支援事業（600 万円）
スマート農業技術導入を加速させ、より生産性の高い食料供給体制を確立するとともに、農業の持続的な発展を図るため、農業者が新たに購入するスマート農業機械類などの費用の一部を補助します。

●クマPAY普及促進事業（9 億 5,022 万円）
「クマＰＡＹ」の普及促進を図るため、新市誕生 20 周年を記念し、還元キャンペーンを実施します。

令和7年度の主な事業（数字は予算額）

①スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち

●ワイルドナイツ連携事業（1125万円）
本市を拠点として活動する埼玉ワイルドナイツが地域に愛されホームタウンとして共に盛り上がっていけるよう、ファン獲得・交流のための支援・補助などを行います。

●プロスポーツチーム等連携事業（239万円）
本市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームなどと連携し、継続的なホームゲームの盛り上げや新たなにぎわいの創出を図ります。

●イベントチラシ掲示板事業（940万円）
イベント主催者が、イベント情報を簡単に投稿できるシステムを構築します。「クマぶら」と連動し、イベント開催場所を地図などで確認することができるよう、市内のイベント情報の視認性、利便性を高めます。

●熊谷グルメイベント実施事業（250万円）
令和6年度に引き続き「クマぶら」を活用してスタンプラリーを実施し、市内周遊による観光を推進します。

②健康で安全・安心に暮らせるまち

●任意接種費用助成事業（5579万円）
大人の風しん予防接種、造血幹細胞移植後ワクチン再接種の助成を継続するとともに、男子ＨＰＶワクチンや、50歳以上の定期接種対象者以外の帯状疱疹（たいじょうほうしん）ワクチン接種費用の助成についても、引き続き延長して対象とします。

●産後ケア事業（1105万円）
産後ケアの提供により、母親の身体の回復や心の安定を促すとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援します。

●がん患者ウェルビーイング支援事業（398万円）
ＡＹＡ世代の終末期がん患者に在宅療養に必要な生活支援費用の助成を行います。また、がん患者の外見の変化をケアする用品に、胸部補整具を追加し、購入費用の助成を継続して行います。

●消防施設維持管理等経費（3344万円）
女性消防職員が働きやすい環境を整備し、活躍する場を広げられるよう、妻沼消防署に仮眠室などの整備を行います。

③人にやさしい思いやりのあるまち

●老人福祉センター江南荘耐震補強事業（2億2110万円）
江南荘の利用者が安心して施設を利用できるよう、耐震補強工事を実施します。

●養育費確保支援事業（93万円）
ひとり親家庭などが養育費の取り決めを行う際の公正証書等の作成や、養育費保証契約締結に係る経費の一部を補助します。

●妊婦等支援事業（1億1684万円）
妊娠期からの切れ目のない支援を行う観点から、「妊婦等包括相談支援事業」として、妊娠時から妊産婦等に寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の推進を図るとともに「妊婦等支援給付金事業」により経済的支援を行います。

●学校給食費負担軽減支援事業（9780万円）
食材の高騰による給食費改定分を公費負担し、保護者負担額を据え置くことで、子育て世帯を支援します。

④環境にやさしく自然が豊かなまち

●省エネ家電普及促進事業（500万円）
省エネルギー化を推進するため、省エネ性能を有する家電（エアコン、冷蔵庫と冷凍庫）を購入する世帯に対し、購入金額の一部を補助します。

●アライグマ・ハクビシン防除事業（50万円）
市内に住宅を所有し、当該家屋に居住する方に、アライグマとハクビシンの家屋への侵入防除に係る費用の2分の1（上限5万円）を補助します。





⑤人が集い活力ある産業が育つまち

●農産物ブランド化推進事業（910万円）
ブランド認証制度による市産品の更なる価値向上、地域の活性化を目指す「熊谷ブランド　晴れまち事業構想」の事業化を推進します。

●元気な農業支援事業（1000万円）
農業者の経営安定・発展を支援し、市内農業者数の維持・確保とともに、農産物の安定供給を図るため、農業者が新たに購入する農業機械の費用の一部を補助します。

●池上地区「道の駅」整備事業（4億7346万円）
「食×子ども」を設計コンセプトとした道の駅を整備します。本年度は、建築工事並びに水道と下水道工事を行います。

●(仮称)樋春地区産業団地整備計画検討・調査事業（7440万円）
企業誘致と市内企業の事業拡大を促進するため、企業の立地先となる産業団地整備を実施するための調査業務などを行います。

⑥快適で暮らしやすいまち

●まちなかウォーカブル推進事業（6355万円）
居心地がよく、歩きたくなるまちづくりを推進するため、星川通り周辺の滞留空間の整備やグリーンスローモビリティの実証実験の実施など、官民一体となったにぎわいのある歩行者空間の創出を目指します。


星川滞留場

●熊谷駅南口周辺再整備促進事業（1808万円）
熊谷駅南口周辺の再整備を促進するため、まちづくりビジョンの策定に向けて市民ワークショップを開催するとともに、南口駅前広場と周辺道路に関する交通基盤の検討を行います。

●熊谷運動公園子供広場整備事業（9390万円）
スケートボードパークのセクションを増設し、幅広い層の方が利用しやすい環境を整えます。また、子供広場に整備を進めている水辺施設周辺の舗装工事などを行います。

●生活道路及び排水路の整備の推進（16億6996万円）
生活道路の側溝整備や舗装新設・補修、排水路の整備・修繕など、自治会などから要望の多い生活環境の改善を引き続き進めます。

⑦地域に根ざした教育・文化のまち

●新くまなびスクール事業（1億7256万円）
市内全小・中学校に、新たに校内教育支援センターを設置し、支援員を配置して登校支援を行います。また、全児童・生徒を対象に、支援員が授業時間帯に各教室の学習支援、放課後の時間帯に補充学習を行います。

●小学校トイレ整備事業（4億3000万円）
別府小学校、吉見小学校のトイレの洋式化などの改修工事を実施し、市内小・中学校全校のトイレ改修が完了します。


改修イメージ（多目的トイレ）

●「踊る埴輪」知名度アップ事業（135万円）
埴輪の中で最も知名度の高い「踊る埴輪」を3D計測したデータを基に型を作成し、樹脂製ストラップ製作体験を実施するとともに、御墳印や解説リーフレットを作成することで「踊る埴輪」を地域資源として活用していきます。


「踊る埴輪」（レプリカ）

●「友山（ゆうざん）・武香（たけか）物語」マンガ制作事業（311万円）
幕末から明治期にかけて活躍した大里地域の豪農だった根岸家の、「根岸友山・武香」親子の功績を親しみやすいマンガ形式で紹介し、その事績を広く伝え郷土への誇りを醸成します。

⑧市民と行政が協働して創る満足度の高いまち

●シティプロモーション事業（740万円）
地域の魅力を市内外に発信する活動や地域の魅力を「見つける、創る、磨く」活動など本市の魅力を高める取組を実施します。

●地域会館整備事業（6億4124万円）
生涯活動センターとともに既存施設の機能を引き継ぐ地域会館を整備します。生涯学習や地域活動のための施設として、三尻、佐谷田、大幡、大麻生の4地域において、既存公民館を建て替える形で整備します。

●熊谷市長選挙事業（7652万円）
令和7年11月5日任期満了の熊谷市長選挙を執行します。

「新熊谷プロジェクト」で、「学力日本一」を目指します！

熊谷市では、テストなどの一般的な学力検査によって測定できる、いわゆる「知力」だけを学力と捉えていません。思いやりの心などの「徳力」や、走る力、投げる力などの「体力」も広い意味での学力と捉え、知・徳・体のバランスのとれた学力を身に付けさせることにより、子どもたちに「生きる力」、未来の社会を「生きぬく力」を育成します。

市ホームページ

問学校教育課　☎内線386


ボランティア活動（落ち葉掃き）


対話を通して学ぶ子どもたち


ICTを効果的に活用した授業


タグラグビーで汗を流す子どもたち

学 校「学校の教えで花が咲き」

知「子どもたちの学力を伸ばす」

主に以下の点に重点を置いています。
- 学習内容を明確にした授業
- 「総合的な学習の時間」を中核としたカリキュラム改善
- ICT機器、1人1台端末を効果的に用いた授業

「生きる力」

徳「子どもたちの豊かな心を育む」

主に以下の点に重点を置いています。
- 郷土愛の醸成
- 実生活における道徳の「見える化」
- 「いじめ撲滅宣言」の推進

体「子どもたちの体力を伸ばす」

主に以下の点に重点を置いています。
- めあてを持って進んで運動、仲間と学ぶ、喜びあふれる体育の授業
- HQCシートを活用した生活習慣改善
- 体育指導専門員の訪問指導による教員の資質向上

家 庭「家庭の教えで芽を出し」

家庭とのつながり
- 「熊谷の子どもたちは、これができます！『4つの実践』と『3減運動』」
- スマホ使い方宣言、タブレット端末の約束5か条
- 熊谷通知票で評価材料を各家庭に早くお知らせ

地 域「世間の教えで実がなる」

地域との連携
- コミュニティ・スクールの推進
- 放課後子供教室、学校応援団
- 青少年健全育成活動
- 地域防災教育　・民生委員・児童委員

令和7年度　後期（10月20日～3月31日）

- 10/16 前期終了
- 秋休み
- 10/20 後期授業開始
- 12/24 授業終了
- 冬休み
- 1/8 授業開始
- 3/16 中学校卒業式
- 3/24 小学校卒業式
- 3/26 修了式 小・中学校
- 春休み

通知票（10/16）

通知票（3/16）

9/22 第1回 中3 実力テスト

11/20 第2回 中3 実力テスト

1/13　第3回中3 実力テスト
1/15　検証問題テスト（小5・中2）
1/15　小6学習到達度調査

2/26 埼玉県公立高校入試

【令和6年度全国学力・学習状況調査の結果】

○「学力(知)日本一」に近い結果となりました。

平均正答率(%)

	小学校6年生		中学校3年生	
教科	国語	算数	国語	数学
全　国	67.7	63.4	58.1	52.5
埼玉県	69.0	64.0	59.0	53.0
熊谷市	73.0	67.0	58.0	52.0

【令和6年度新体力テストの結果】

○小学校5年生、中学校2年生男女とも、全国1位の県の値を超えています。

《項目》 50M走、ボール投げ、立ち幅跳び、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン(小)、持久走(中)

《体力合計点》 1項目10点満点で記録に応じて得点化した8項目の合計得点を体力合計点という。得点が高いほどよい。　体力合計点(埼玉県の丸数字は全国での都道府県順位)

	小学校5年生		中学校2年生	
	男子	女子	男子	女子
全　国	52.53	53.92	41.86	47.37
埼玉県	54.33⑦	56.43⑥	43.52⑨	50.51①
熊谷市	56.96	59.65	46.12	54.76
全国1位の県	56.19	58.17	44.81	50.51

【令和6年度スコア型英語4技能検定「GTEC」の結果】

○全ての技能で全国の値を上回っています。

全国のスコアは、私立中学校を除く全国参考値　各技能210点満点

	聞く技能	読む技能	話す技能	書く技能
全　国 中学校3年生	105.0	100.0	99.0	151.0
熊谷市 中学校3年生	110.2	104.0	110.9	163.8
全国との差	+5.2	+4.0	+11.9	+12.8

【「熊谷の子どもたちは、これができます!『4つの実践』と『3減運動』」】

7つの項目の合計　(%)

	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	100	85	85	85

ほぼ毎日、朝食を食べる割合　(%)

	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市全体	100	96	96	96

教科横断的でオーセンティックな授業

関連する教科や複数の単元にまたがる学習内容を精選、統合するなど、「総合的な学習の時間」を中核としたカリキュラム改善により、「知識及び技能」、「思考力，判断力，表現力等」、「学びに向かう力，人間性等」、いわゆる汎用的能力を育成します。

【オーセンティックな授業】

現実社会に存在する、本物の実践に可能な限り近づけた学び

例　40人乗りのバスがあります。
140人を運ぶには何台のバスが必要ですか。

$140 \div 40 = 3\frac{1}{2}$　$3\frac{1}{2}$台のバスが必要!?



教育研究所では、相談活動を行っています。

1　相談内容

⑴勉強や友だちのこと
⑵不登校やいじめのこと
⑶家庭や家族のこと
⑷その他、悩みや不安など



©熊谷市

2　相談方法と場所

⑴面接相談
熊谷市役所6階、教育研究所教育相談窓口

⑵電話相談
- 教育研究所教育相談窓口:048-524-1111(内線551)
- 熊谷市教育支援センター
さくら教室:048-523-1570

令和7年度　前期(4月1日～10月16日)

春休み
4/8 始業式 入学式
家庭訪問
期間は学校ごとに異なります
7/18 授業終了
夏休み
期間は学校ごとに異なります
9/1 授業開始

4/17	全国学力・学習状況調査(小6、中3)	国、算・数、理
5/9	埼玉県学力・学習状況調査(小5、中2)	国、算・数
5/13	埼玉県学力・学習状況調査(小4、中1)	国、算・数
5/15	埼玉県学力・学習状況調査(小6、中3)	国、算・数

保育料完全無償化事業が始まります

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、本市独自の施策として、0歳児から2歳児の保育料を完全無償化し、子どもを産み育てやすい環境を整備します。

※行事費、教材費、通園送迎費などの実費は、これまでどおり保護者の負担となります。

問保育課　☎内線431、433、570

対象者

保育所(園)、認定こども園、地域型保育施設に通園している場合

市内にお住まいの0歳児から2歳児の子ども

認可外保育施設、一時預かり事業を利用している場合

次のすべてを満たす子ども

①市内にお住まいで保育の必要性がある課税世帯の0歳児から2歳児の子ども

②認可保育施設(保育所(園)、認定こども園、地域型保育施設)を希望したが入園できなかった子ども

③基準を満たす認可外保育施設、一時預かり事業を利用する子ども

※非課税世帯と3歳児から5歳児の子どもは、すでに国の制度で無償化されています。

手続

保育所(園)、認定こども園、地域型保育施設を利用する方

特別な手続は不要です。市から保育料無償の通知が届きます。

認可外保育施設、一時預かり事業を利用する方

手続が必要となります。

詳しくは保育課または右記コードから市ホームページをご覧ください。

市ホームページ

CITYPROMOTION

シティプロモーションのロゴマークが完成しました。

令和５年度から始まった熊谷市シティプロモーションの取組は、まちのファンを増やす目的で行われる「魅力づくり」や「魅力発信」などの活動を指します。この活動をさらに市民の皆様や企業・団体の皆様と一緒に取り組んでいくため、そのシンボルとなるロゴマークを作成しました。

ロゴマークに含まれる要素などの詳しい説明は右記コードからご覧ください。

市ホームページ

ロゴマークと共に発信する「進め、明日(あした)のその先へ」というシティプロモーションのキャッチコピーには、シティプロモーション活動を行う皆様と共にまちの未来をつくりたいという思いが込められています。このロゴマークを使うことで「活動を応援したい・参加したい」というコミュニケーションが生まれ、まち全体が盛り上がっていくことを目指しながら、「明日のその先」というまちの未来を目指していきたいと考えています。

ロゴマークは、クマガヤサポーター（「熊谷市シティプロモーションサポーター登録制度」に登録した企業や団体）であれば、ロゴの使用申請をしていただくことで自由にご使用いただけます。

高齢者のみ世帯情報の民生委員・児童委員への提供について

65歳以上の方のみで構成される世帯の個人情報を地域の見守り活動のため、今年度から民生委員・児童委員へ提供します。

なお、民生委員・児童委員は非常勤の国家公務員であり、守秘義務が課せられていますので名簿情報を見守り活動以外に使用することはありません。

対象者　4月1日現在、市内在住の65歳以上の方

提供内容　郵便番号・住所・氏名・性別・生年月日が記載された「地区高齢者名簿」を、担当地区の民生委員・児童委員から提供申請があった場合に限り、対面で提供します。

なお、**名簿への掲載を希望しない方は、申出が必要です。**

申出方法　長寿いきがい課（本庁舎1階）と各行政センター福祉担当係の窓口にある申出書に必要事項を明記し、4月1日（火）～5月30日（金）に提出してください。

※名簿に掲載しない場合でも、親族などからの情報に基づいて民生委員・児童委員が訪問する場合もあります。なお、不掲載の方も再掲載申出は可能です。

問長寿いきがい課　☎内線272

土曜開庁日の変更のお知らせ　令和7年度7月から変更

令和7年7月以降の土曜開庁日を変更します。

変更前	毎週土曜日
変更後	第2、第4土曜日

※3月、4月は毎週土曜日を開庁日とする予定です。

※取扱業務に変更はありません。

※住民票の写しなどの証明書は、マイナンバーカードを使用して、全国のコンビニエンスストアで取得できますので、ぜひご利用ください。

問企画課　☎内線216

家庭用の住宅等防犯対策補助金を交付します

①特殊詐欺対策電話機器

対象者：市内在住の本年度65歳以上となる方

補助金額：購入費の1/2（上限額1万円）

補助対象機器：呼出し前に自動応答し、発信者へ通話の録音をすることを通知し、通話が開始されると同時に自動で録音を開始する電話機や固定電話に接続する機器　※通常の留守番電話は対象外

②家庭用防犯カメラ

対象者：市内在住の方

補助金額：設置費の1/2（上限額3万円）

補助対象経費：家庭用防犯カメラと画像データ保存装置等防犯カメラと一体的に機能する機器の購入費や設置工事に要した費用など。

※購入前に申請書の提出が必要です。

※いずれも、令和7年4月1日以降に市内店舗で購入したものが対象

※補助金は熊谷市地域電子マネー「クマPAY」で交付します。

※申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付し、下記へ提出してください。

※申請書は下記で配布、または市ホームページからダウンロードできます。

※詳しくは、機器購入前に右記コードからご確認ください。

問安心安全課　☎内線339

市ホームページ（特殊詐欺対策電話機器）

市ホームページ（家庭用防犯カメラ）

住宅の耐震化を応援します　令和7年度から増額

住宅の耐震診断や耐震改修の費用を補助する制度です。また、住宅の倒壊時に人的被害を防ぐ、耐震シェルター、防災ベッドの設置費用を補助しています。

問建築審査課（大里庁舎）　☎0493-39-4809

①木造住宅耐震診断補助金

対象　建築士による詳細な耐震診断をするもの

補助金額　耐震診断に要した費用の1/2（上限7.5万円）

②木造住宅耐震改修等補助金

対象　建築士による耐震診断を受けて強度不足と診断され、改修するもの

補助金額　耐震シェルター、防災ベッドの設置に要した費用の1/2（上限20万円）

※いずれも**二階建て以下の木造戸建て住宅（一部店舗などの併用含む）で昭和56年5月末まで**に着工したものが対象

令和7年度　帯状疱疹ワクチン接種について

4月から帯状疱疹の予防接種は2つの制度で実施します。

種別	定期接種	任意接種（市が費用の一部を助成）
対象者	接種日において熊谷市に住民登録がある、以下のいずれかの要件を満たす方 ①令和7年度に65・70・75・80・85・90・95・100歳を迎える方 ②101歳以上の方（令和7年度に限り全員） ③60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方	接種日において熊谷市に住民登録がある50歳以上（実年齢）で、左記定期接種の対象者以外の方 ※接種をご希望の方は、令和7年度中の計画的な接種をお願いします。
自己負担額	生ワクチン　　2，500円/1回 組換えワクチン9，000円/1回	**医療機関により自己負担額・助成方法が異なります。** ①市内実施医療機関で接種の場合 ⇒助成額を差引いた額 ②市外等実施医療機関以外で接種した場合 ⇒全額支払い後、助成額を申請（令和8年3月31日期限） 【助成額】生ワクチン　　4，500円/1回 組換えワクチン12，000円/1回
予診票	市から対象者に個別に発送	実施医療機関に設置
申込み	実施医療機関に直接予約	実施医療機関に直接予約
問合せ	問 母子健康センター ☎ 048-525-2722	問 健康づくり課 ☎ 048-528-0601

市ホームページ　　市ホームページ

【帯状疱疹ワクチンの種類】〈定期接種・任意接種ともに２種類のワクチンから１種類を選択できます〉

種類		乾燥弱毒生水痘ワクチン 生ワクチン（ビケン）	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン 組換えワクチン（シングリックス）
接種方法		皮下注射	筋肉内注射
接種回数		1回	2回（2回目は原則1回目から2か月後）
予防効果	5年時点	40%前後	90%前後
	10年時点	ー	70%前後

クビアカツヤカミキリの被害拡大防止に補助金があります

クビアカツヤカミキリ（特定外来生物）によって桜や桃の木などが枯れる被害を防ぐため、下表の拡大防止取組に対して補助します。

問 環境政策課（江南庁舎）　☎048-536-1547

対象者	補助金額
被害木を所有、管理し、伐採または薬剤防除を業者委託した個人・事業者	伐採または薬剤防除に要した費用の1/2（上限5万円、100円未満切り捨て）